

肥後 洋一朗

GO! HIGO JOURNAL

2012年
新春号

若者と 中小企業を結ぶ 全国初の 取り組み

公明党はこれまで、若者と中小企業のミスマッチを解消するために「ドリームマッチプロジェクト」を全国レベルで推進してきました。

昨年9月の府議会一般質問で肥後洋一朗は、中小企業が支える街・大阪の若者の就労問題について質疑をおこないました。その中で、現在の若者と中小企業を結ぶために、**ツイッター**や**フェイスブック**のような双方向型の情報サイトを活用した取り組みを提案、大阪府は都道府県で初の試みとなる「**フェイスブックを活用した就労の取り組み**」を始めることになりました。



▲昨年、9月府議会定例会にて

これにより、若者に成長する中小企業を知ってもらうことができると同時に、求人にも苦勞している企業側からも若者に直接アクセスできるようになります。

「人と地域が輝くまち 大阪、安心安全なまち 大阪」の実現へ!

府議会議員の肥後洋一朗です。

現在、皆様から寄せられる貴重なご意見やご要望に誠実に耳を傾けながら、「現場第一主義」をモットーに、様々な問題や課題等の解決、改善のため真剣に取り組んでおります。

府民の皆様のご将来への不安感を一掃し、大阪に「安心」と「希望」を取り戻す行動を展開してまいります。

激動の時代を、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」お互いが尊重しあい、一人一人がそれぞれの持つ可能性を最大限に発揮できるような大阪の実現に向け、全力で働いてまいります。

肥後洋一朗は、府議会で様々な質問・提案をしています。今後も、引き続き、実現を目指し、取り組んでまいります。

東日本大震災を教訓に 災害対策に万全を期せ!

昨年8月、災害対策調査特別委員会で被災した宮城県の県南浄化センターに行ってきました。下水施設の津波・地震対策を強く大阪府に求めました。府は、「**下水処理施設の耐震化の推進、防災行政無線の設置、緊急的な応急対応に万全を尽くす**」との見解を示しました。



▲災害対策調査特別委員会(宮城県にて)

東寝屋川駅前線道路の 早期実現を!

東部地域のまちづくりにおいて、東寝屋川駅前線の整備は必要不可欠な社会的インフラです。東寝屋川駅前線が整備されれば、第二京阪道路を通じ枚方市や京都方面のみならず、寝屋川市内中心部からのアクセスも格段に向上し、この地域が大きく活性化します。



▲整備が求められる420m(黄色部分)
青色部分は今春完成予定、赤色部分は整備済



その他、京阪本線連続立体交差事業、寝屋川流域の治水対策など、寝屋川市として早期実現が求められる諸課題について議会で取り上げ、強く訴えています。

府政に関する相談やお問合せは



大阪府議会議員
ひご
肥後 洋一朗 府政事務所まで

〒572-0835 寝屋川市日之出町2-5 圓貫々堂ビル203号
TEL:072-812-3140 FAX:072-812-3145

ひご 洋一朗プロフィール
昭和39年8月17日生まれ 鹿児島市出身
平成19年4月 寝屋川市議会議員 初当選
平成23年4月 大阪府議会議員 初当選
都市住宅常任委員会委員
災害対策調査特別委員会委員
公明党大阪府本部青年局長

まずは、お気軽に
お電話ください。

ホームページURL
<http://y-higo.net/>
ブログ・facebookも、
やっています。

改革ビジョン 明示求める

「障がい者雇用」日本一へ 知事、具体策を約束

杉本議員が府議会で代表質問



代表質問する杉本議員—12月15日 大阪府議会

12月15日の大阪府議会本会議で、公明党大阪府議会議員団の杉本武議員（副団長・茨木市選出）が代表質問に立ちました。杉本議員は松井一郎新知事に対し「**広域行政を担う府がどう変わっていくかが大切だ**」と強調。「新たな大都市制度、新たな統治機構へ変革するための知事としての具体的なビジョンと変革への行程表を**府民に明示すべきだ**」と訴えました。松井知事は「改革ビジョンを2月議会で示せるよう、これから検討する」と答えました。

杉本議員は「行政の果たすべき役割はセーフティーネット（安全網）の構築である」と指摘し、障がい者雇用の現状に言及しました。「前知事は“障がい者雇用日本一”を掲げたが、大阪の実雇用率は1.67%で、法定雇用率の1.8%を下回っている。法定雇用率達成企業の割合も44.5%と、都道府県で45位であり、成果は上がっていない」と述べ、安全網構築の観点から課題を検証し、目標達成へ方策を示すよう求めました。

これに対し、松井知事は「きちっと検証し、予算審議する中で示せるようにしたい」と明言しました。

大阪維新の会から提案されている職員基本条例案、教育基本条例案に対し、杉本議員は「大阪の再生に必要なのは、府民のために汗を流す職員を信頼し、明日を担う子どもたちを育む教員と対話すること」と強調し「あえて条例を制定する必要はないのではないか」とたどしました。

明るい未来が実感できる大阪に

防災体制の充実、がん対策の推進など

24年度府施策・予算 府議団が知事に要望

公明党大阪府議会議員団（清水義人幹事長）は12月22日、松井一郎府知事に会い、平成24年度の府施策・予算編成に関する要望書を提出しました。

公明党府議団は「経済の活性化や住民の暮らしで実感できる大阪の変化が求められている。将来に希望が実感できる予算編成をお願いしたい」と申し入れました。

その上で、①大規模災害における防災体制の充実、②がん対策の推進、③みどりの風を感じる都市づくり、などの項目について要望しました。特に①については、公明党大阪府本部で実施した「防災総点検運動」の結果を披露した上で、学校の防災拠点としての設備の充実と女性の視点をより反映させた防災計画づくり、②については「がん対策基金」を平成24年度中に設立すること、③については大阪府・市が連携して具体化に向けて取り組むこと、を求めました。

松井知事からは「公明党の要望を取り入れた予算編成をしていきたい」との返答がありました。



府議団の施策・予算要望—12月22日、大阪府公館